

2022 年 8 月 26 日

報道関係者各位

「大豆調達方針」を策定
RTRS (責任ある大豆に関する円卓会議)に加盟
認証団体と連携のうえ持続可能な大豆の調達を推進します

株式会社 J-オイルミルズ（東京都中央区、代表取締役社長：佐藤達也、以下 当社）は、このたび「大豆調達方針」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

大豆は当社の事業活動を支える重要な原材料のひとつです。私たちの生活に欠かせない植物油などの食用用途に加え、バイオディーゼル燃料、家畜の飼料など食用以外の用途でも広く利用されており、国際的な需要は増加の一途をたどっています。その一方で、大豆の生産においては、森林破壊などの環境問題や、先住民、労働者の権利侵害などの人権問題が指摘されています。そのため、当社は環境や人権に配慮した持続可能な大豆の調達を行うため、森林破壊、生物多様性、気候変動、人権尊重、法令遵守の 5 つの項目についてコミットコメントを定め、「大豆調達方針」に基づいた透明で責任ある大豆の調達を目指します。

また、大豆のサプライチェーンにおける環境負荷などの実態調査に継続的に取り組むとともに、認証機関の認証を得た大豆の調達を行うため、2022 年 8 月に RTRS※1（責任ある大豆に関する円卓会議）に加盟しました。食を支える企業として、安定的な大豆の調達、製品供給の社会的責任を果たすため、RTRS 等の認証機関と連携することで、トレーサビリティの向上を目指し、持続可能な大豆の調達に努めてまいります。

※1 RTRS: Round Table on Responsible Soy Association (責任ある大豆に関する円卓会議)

2006 年にスイスのチューリッヒで設立された責任ある大豆の生産、取引、利用の拡大を促進する非営利団体です。

■添付資料 「大豆調達方針」

■J-オイルミルズについて

株式会社 J-オイルミルズ（東証プライム市場、証券コード 2613）は 2004 年に製油業界の 3 社が統合して誕生しました。JOYL「AJINOMOTO オリーブオイル」をはじめとする油脂製品を主力とし、特に業務用油脂では高いシェアを誇ります。マーガリン類、油糧（ミール）、スターチ、機能性素材など幅広い事業を展開しており、プラスチック使用量を 6 割以上※2 削減した紙パックの食用油「スマートグリーンパック」シリーズや植物性チーズ&バター代替品「Violife（ビオライフ）」、CFP(Carbon Footprint of Products)マークを取得した業務用の長持ち油「長徳®」シリーズなど、植物由来の原料から価値を引き出し「おいしさ×健康×低負荷」の実現を目指しています。

※2 従来のプラスチック製同容量容器との比較

詳細については <https://www.j-oil.com/> をご参照ください。

＜本件に関する報道機関の皆さまからのお問い合わせ先＞
株式会社 J-オイルミルズ コーポレートコミュニケーション部
広報グループ TEL：03-5148-7103 E-mail：pr@j-oil.com

株式会社 J-オイルミルズ

【添付資料】

大豆調達方針

2022 年 8 月 26 日制定

■方針構成

1. 前文
2. コミットメント
 - 2-1 森林破壊
 - 2-2 生物多様性
 - 2-3 気候変動
 - 2-4 人権尊重
 - 2-5 法令遵守
3. 方針
4. 目標・報告
5. 運用

■本文

1. 前文

大豆は食用油に加え、バイオディーゼル燃料、家畜の飼料など食用以外の用途でも広く利用され、我々の生活に欠かせない油糧種子であり、当社の事業活動を支える重要な原材料のひとつです。

J-オイルミルズグループは、「人権方針」「サステナブル調達方針・調達基準」に基づき、ステークホルダーの皆様と協働して、原料の原産国の環境保全に配慮するとともに、人権の尊重に取り組みます。2022 年 8 月に責任ある大豆に関する円卓会議（RTRS^{*1}）に加盟しました。食を支える企業として、安定的な大豆の調達、製品供給の社会的責任を果たすため、持続可能な大豆の調達を実現します。

2. コミットメント

J-オイルミルズグループは、以下のコミットメントを定めます。

2-1 森林破壊

- ・保護価値の高い（HCV^{*2}）森林の破壊に加担しません。

2-2 生物多様性

- ・生物多様性の保全に配慮します。

2-3 気候変動

- ・ステークホルダーの皆様と協働し、既存事業からの温室効果ガス排出量を段階的に削減します。

2-4 人権尊重

- ・国際規範に基づいて行動し、先住民、地域住民、労働者の権利を侵害しません。

2-5 法令遵守

- ・事業を展開する国や地域の法令及び国際法令を遵守します。

3. 方針

大豆の生産国におけるサプライチェーンの実態調査に継続的に取り組むとともに、RTRS 等の認証機関と連携し、認証大豆の調達にも取り組みます。J-オイルミルズグループは、コミットメントに則り、大豆の調達方針を定め、透明で責任ある大豆の調達を目指します。

4. 目標・報告

安定的な大豆の調達、製品供給の社会的責任を果たすため、トレーサビリティの向上を目指し、アクションプランを策定し、持続可能な大豆の調達に取り組めます。

5. 運用

サプライヤーおよび関連するステークホルダーと協働し、本方針に則した取組みを実行します。本方針は社会状況の変化等に応じて改訂いたします。

以上

.....
*1 RTRS: Round Table on Responsible Soy Association (責任ある大豆に関する円卓会議)

<https://responsiblesoy.org/?lang=en>

*2 HCV(High Conservation Values) 「保護価値の高い森林」について

<https://hcvnetwork.org/>